

遠藤康裕氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題目 Correlation of shoulder and elbow injuries with longitudinal measurements of muscle tightness, core stability, and balance in junior high school baseball players
(中学生野球選手における肩・肘関節障害と縦断的に測定した筋タイトネス、体幹安定性、バランスの関連)
Journal of Physical Therapy Science (in press)
Yasuhiro Endo, Masaaki Sakamoto

論文の要旨及び判定理由

野球選手における上肢のスポーツ障害の発生要因としては、年齢、体重、疲労下での投球の反復、1シーズン内の投球数などが報告されている。しかし、成長期の野球選手における上肢の障害発生要因は明らかではなく、縦断的な身体機能の検討が必要である。本研究は、中学生野球選手を対象に、1シーズンの初期から末期にかけて、肩関節または肘関節の疼痛の発生状況と、筋タイトネス、体幹安定性および立位バランスとの関連性を縦断的に検討したものである。約半数の対象に肩関節または肘関節の疼痛が発生した。シーズン初期の時点で、疼痛発生群は、発生しなかった群に比して、ステップ脚股関節内旋筋と軸脚大腿四頭筋の筋柔軟性が有意に低値であった。また、疼痛発生群のみに、軸脚の大腿四頭筋とハムストリングス、および投球側肩関節内旋筋の筋柔軟性が、シーズン初期に比べて末期で有意な低下を認めた。体幹安定性と立位バランスについては、疼痛発生との明らかな関連性を認めなかった。本研究は、中学生野球選手における上肢スポーツ障害の発生要因として、下肢の筋柔軟性が重要であることを明らかにし、成長期のスポーツ障害に対して効果的な理学療法を実施するための新たな知見を示した研究であり、リハビリテーション学分野での重要な研究と認められ、博士(保健学)の学位に値するものと判定した。
(平成25年12月25日)

審査委員

主査	群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	白田 滋	印
副査	群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	渡邊 秀臣	印
副査	群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	外里 富佐江	印

参考論文

1. Relationship between lower extremity tightness and Star Excursion Balance Test performance in junior high school baseball players
(中学生野球選手における下肢筋タイトネスとStar Excursion Balance Testの関係)
Journal of Physical Therapy Science (in press)
Endo Y, Sakamoto M
2. 中学生野球選手における股関節可動域、下肢筋柔軟性の特徴
日本臨床スポーツ医学会誌 20 : 20-26, 2013
遠藤康裕、中澤理恵、坂本雅昭

最終試験の結果の要旨

運動連鎖の観点からの上肢の障害予防のための下肢へのアプローチについて、成長期におけるスポーツ障害に対する理学療法について、および筋柔軟性に影響を及ぼす要因について試問し満足すべき解答を得た。

(平成25年12月25日)

試験委員

群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	白田 滋	印
群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	渡邊 秀臣	印
群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座	外里 富佐江	印

試験科目

運動連鎖の観点からの上肢の障害予防のための下肢へのアプローチについて	合
成長期におけるスポーツ障害に対する理学療法について	合
筋柔軟性に影響を及ぼす要因について	合

平成25年12月25日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

主査 群馬大学大学院教授
白 田 滋 印

副査 群馬大学大学院教授
渡 邊 秀 臣 印

副査 群馬大学大学院教授
外 里 富 佐 江 印

学位論文審査委員会報告書

1 氏 名 遠 藤 康 裕

1 主論文

Correlation of shoulder and elbow injuries with longitudinal measurements of muscle tightness, core stability, and balance in junior high school baseball players

(中学生野球選手における肩・肘関節障害と縦断的に測定した筋タイトネス、体幹安定性、バランスの関連)

1 参考論文

Relationship between lower extremity tightness and Star Excursion Balance Test performance in junior high school baseball players

(中学生野球選手における下肢筋タイトネスとStar Excursion Balance Testの関係)

外 1 編

1 審査結果

A

平成25年12月25日審査委員会を開き主題の論文につき審査の結果、上記のとおり判定議決しましたので報告します。

平成25年12月25日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

委員 群馬大学大学院教授
白田 滋 印

委員 群馬大学大学院教授
渡邊 秀臣 印

委員 群馬大学大学院教授
外里 富佐江 印

博士後期課程最終試験成績報告書

氏名 遠藤 康裕

試験科目

運動連鎖の観点からの上肢の障害予防のための下肢へのアプローチについて	合
成長期におけるスポーツ障害に対する理学療法について	合
筋柔軟性に影響を及ぼす要因について	合

平成25年12月25日試験を行い、上記のとおり判定しましたので報告します。